

(2022年 山口県公立入試 類似)

- (2023年 宮城県公立入試 類似)

- (2024年 静岡県公立入試 類似)

- (2021年 高知県公立入試 類似)

- (2025年 青森県公立入試 類似)

- (2018年 群馬県公立入試 類似)

- (2017年 奈良県公立入試 類似)

- 新潟県公立入試 類似)

- 多雨地帯となる

(2023年 岐阜県公立入試 類似)

- (2017年 高知県公立入試 類似)

-

(2023年 山形県公立入試 類似)

- (2018年 埼玉県公立入試 類似)

- (2015年 佐賀県公立入試 類似)

- いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 3 リアス海岸	起伏の激しい山地が沈水したり、海面が上昇したりすることで、かつての谷の部分に海水が入り込み、複雑な海岸線が形成されました。中部地方では若狭湾がその代表例として知られています。
問2	答え 1 飛騨・木曽・赤石の3つの山脈に囲まれた盆地が点在し、山沿いの扇状地では果樹園が多く見られる	日本の屋根とも呼ばれる中央高地には、飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）からなる日本アルプスがそびえ立っています。これらの険しい山々に囲まれる形で長野盆地や甲府盆地などの盆地が点在しています。盆地の縁には、川が山地から平地へ出るところに土砂が堆積してできた「扇状地」が発達しています。扇状地は稲作には不向きな水はけのよい土地であるため、果樹園としての利用が非常に盛んです。日高山脈は北海道、茶の栽培は主に静岡県や鹿児島県、三角州は河口付近の低地であるため、中央高地の説明としては不適切です。
問3	答え 2 公害対策基本法	高度経済成長期に深刻化したイタイイタイ病、水俣病、第二水俣病、四日市ぜんそくの四大公害病を受け、政府は1967年に公害対策を総合的に進めるための「公害対策基本法」を制定しました。なお、1993年には、地球温暖化などの新しい環境問題に対応するため、現在の「環境基本法」へと発展的に解消されています。
問4	答え 4 高速道路などの交通網が整備され、保冷トラック（冷トラック）による迅速な輸送が可能になったため。	高原野菜は鮮度が重要であるため、かつては遠方の市場へ運ぶことが困難でした。しかし、中央自動車道などの高速道路の開通や、低温を保ったまま輸送できるコールドチェーン（保冷配送網）の発達により、大消費地である都市部へ新鮮な状態で大量に届けることが可能になり、産地としての地位が確立されました。
問5	答え 3 土砂の粒が大きく隙間が多いため、水はけが良いから。	扇状地は、山から流れてきた砂や礫（小石）が堆積してできているため、水が地下に浸透しやすく、非常に水はけが良いという特徴があります。この性質は、根が腐りやすく乾燥した環境を好む果樹の栽培には非常に適していますが、一方で水を貯める必要がある水田には不向きであったため、伝統的に果樹園として利用されてきました。
問6	答え 4 京都府	東海道新幹線は岐阜県から滋賀県を通り、近畿地方に入ります。大阪府へ到達する直前には、古都として知られる京都府を通過します。奈良県や兵庫県は近隣の府県ですが、東海道新幹線の路線が直接通っているのは、滋賀県から京都府を経て大阪府へ至るルートです。
問7	答え 2 石川県（金沢市）、愛知県（名古屋市）、山梨県（甲府市）	中部地方で県名と県庁所在地が異なるのは、石川県、愛知県、山梨県の3県です。石川県は金沢市、愛知県は名古屋市、山梨県は甲府市がそれぞれ県庁所在地となっています。選択肢の中にある輪島市、豊田市、松本市などは各県の主要な都市ですが、県庁所在地ではありません。特に愛知県や山梨県のように、県名そのものが都市名になっていないケースは入試で頻出となります。
問8	答え 2 海から遠いため、夏季と冬季の気温差や日中の気温差が大きく、年間を通じて降水量が少ない中央高地の気候に属する	松本市のような内陸部の盆地は「中央高地の気候」に分類されます。海から離れているため、比熱の関係で土地が温まりやすく冷えやすい性質を持ち、気温の年較差や日較差が大きくなります。また、周囲を高い山々に囲まれているため、季節風に含まれる水蒸気が遮断され、年間を通じて降水量が少なくなるのが特徴です。実際に、松本市の統計では1月の気温が氷点下となる一方で、降水量は日本海側や太平洋側と比べて少なくなっています。
問9	答え 2 中京工業地帯	愛知県、岐阜県、三重県に広がるこの地域は、世界的な自動車メーカーの拠点を中心に関連工場が数多く集積しています。機械工業の割合が他の工業地帯と比べても突出して高く、1970年代以降、京浜工業地帯を抜いて日本最大の製造品出荷額を維持し続けています。
問10	答え 3 冬の積雪により屋外での農作業が困難になるため、屋内でできる手仕事が農家の副業として定着したから。	北陸地方は日本海側に位置し、冬には湿った季節風の影響で世界でも有数の豪雪地帯となります。冬の間は積雪によって田畑での耕作が不可能になるため、農家の人々は家の中で行える漆器や織物などの製造を副業として行いました。これが現代に伝わる輪島塗や加賀友禅といった伝統的工芸品の発展につながりました。
問11	答え 2 飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈	中部地方に位置する飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈は、日本でも有数の高さを誇る山々が連なっているのが特徴です。これらは北から順に並んでおり、明治時代にイギリス人宣教師ウェストンらによって、その壮大な景観から「日本アルプス」と名付けられました。東北地方を南北に貫く奥羽山脈など、他の地域の山脈と混同しないように注意が必要です。
問12	答え 2 自動車などの輸送用機械を中心とした機械工業	愛知県では高度経済成長期以降、産業構造が大きく変化しました。1960年頃はせんい工業などの軽工業も一定の割合を占めていましたが、その後、豊田市周辺を中心に自動車産業（輸送用機械）が圧倒的な成長を遂げました。その結果、事業所の集約化が進み数は減ったものの、機械工業の生産性が飛躍的に向上したことで、製造品出荷額は30兆円を大きく超える規模に達しています。
問13	答え 1 赤石山脈	赤石山脈は「南アルプス」とも呼ばれ、飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）とともに日本アルプスを構成しています。太平洋に近い場所に位置するため、湿った空気の影響で降水量が多く、豊かな森林資源を背景とした林業が地域の伝統的な産業となっています。